

カンリガルポ山群・幻の6000メートル峰47座

Hidden 47 Six-thousanders in the Kangri Garpo Mountains

神戸大学山岳会 井上 達男

「ヒマラヤ山脈の東端はナムチャバルワ (7782m: Namchabarwa)で終わり、その先には広大な東チベットの高原が続いている」という定説が流布された結果、カンリガルポ(崗日嘎布 Kangri Garpo)山群やニイチェンタングラ(念青唐古拉 Nyainqentanglha))山群など所謂横断山脈は登山家や研究者に忘れ去られて永らく解明されないまま今日に至っていた。衛星による観測結果から作成された Google Earth や Google Map などからおおよそのピークの存在は推測されるし、旧ソ連の地図や中国の公開されている地図などからもその概要は把握することができる。しかし、山脈には存在すら知られていない幻のピークも多くあるようだ。

横断山脈研究会(中村保会長)はこの地域の研究に熱心である。中でも会員の松本楠夫編著の「ヒマラヤの東 崗日嘎布山群・踏査と探検史」権歌書房 は広範囲、包括的な研究成果を発表したものとして注目に値する。神戸大学は2009年にカンリガルポ山群の第二の高峰、ロプチン峰(6805m Lopchin)に初登頂したが、引き続きこの山脈の解明を続けている。

この山脈の高峰を丹念に調べていくと6000m 峰に絞っても従来30座程度とされていたものが、衛星峰的なものも含めて少なくとも47座の存在が推定される。中にはその存在が認められているにもかかわらず今まで姿を見た者もなく、したがって写真一枚撮られていなかったコネカンリ(Kone Kangri 6347m)や、神戸大学が初めて発見した山々(KG-5 KG-33 KG-37 KG-38 など: KG-は Kangri Garpo の頭文字をとった識別のための仮番号である)もある。現在、5000m 以上のピーク125座について位置と高度の推定に加えて、登山隊、踏査隊、旅行者などが撮影した写真から山座同定を進めている。その中で6000m 峰47座について報告する。但し、6座については未だ写真を得られていない。

カンリガルポ山群はようやく探検的登山、初登頂の時代を迎えた。これは21世紀の奇跡と言えまいか。

崗日嘎布山群の謎についてはピークの存在そのものもさることながら既知のピークについてもその標高については大きな疑問も多くある。2009年に公開されたASTER GDEM (衛星による地形各側データ)を使って対象のピークの標高を抽出したが、従来の地図などで知られている標高とは異なる結果を得られて実際の標高に関する疑問は深まるばかりである。ちなみに2009年に登山中に観察したピークについて既存の地図やASTER GDEMデータなどとの比較を試みる。

表-1 各種標高比較 (単位:m)

NO	KG-#	山名	ACKU 推定	観察	旧ソ連	中国	ASTER
1	KG-1	Ruoni	6882	6859	6805	6882	6841
2	KG-2	Lopchin	6805*	6814	6703		6791
3	KG-3		6726	6740	-		6698
4	KG-5		6340	6373	-		5340
5	KG-6 III	Zyaddo	6025	6018	5903**		5999
6	KG-7	Schuvina	5873	5890	5699		5873
7	KG-8	Shana	5614	5614	5593		5571

注記 * 登頂時の GPS でデータ ** KG-6 II の位置データ

興味深いのは旧ソ連の地図と観察結果を比較すると場合によっては 100m 内外の差があることだ。また、ASTER GDEM データは実際より低いデータが得られることだ。47 座の 6000m 峰の山座同定では基本的に ASTER のデータを採用した。しかし、既に詳細に測量されていると推察される Kone Kangri や Delupora については中国地形図の標高を採用した。

山座同定を行った山々 47 座は表-2 に示す。マイナーピークも含めたので 47 座については異論が出てくるものと思われるが独断と偏見で選択しているのでご容赦願いたい。

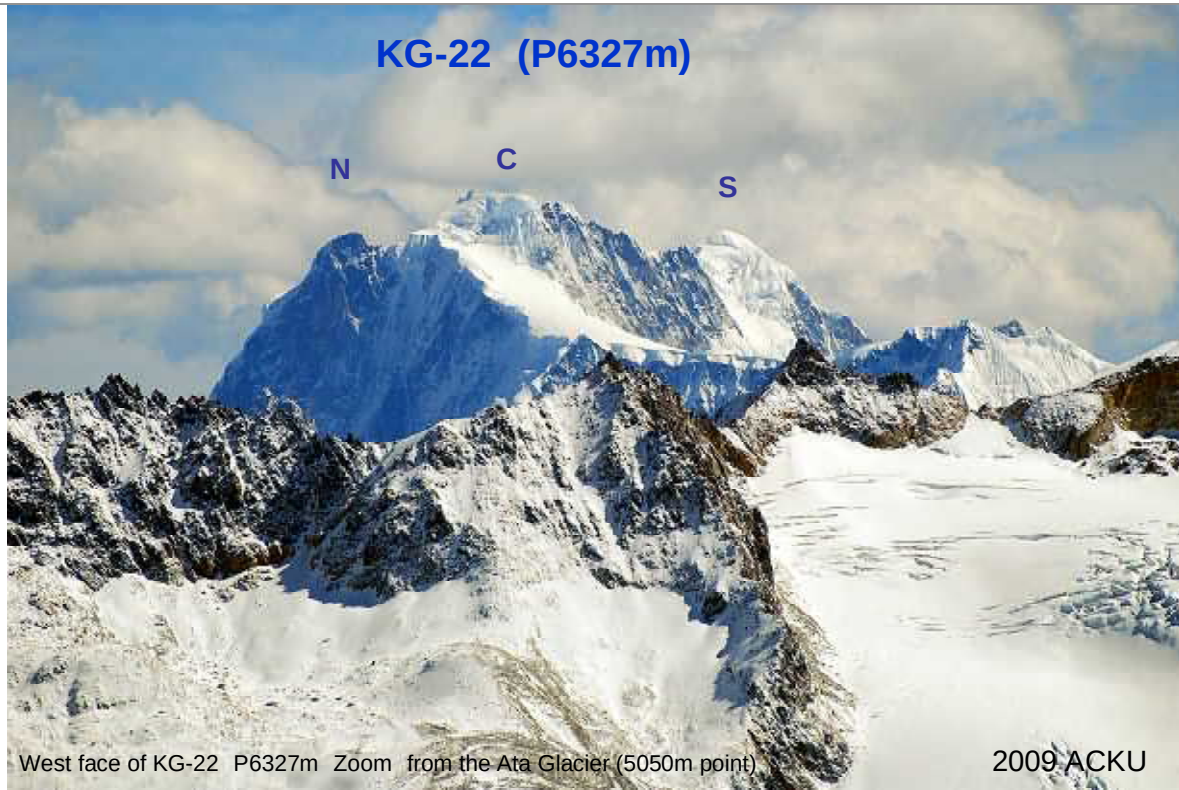
表-2 Hidden 47 Six-thousanders in Kangri Garpo

NO	Peak ID	Name		Altitude(m)	Location N			Location E		
					°	'	"	°	'	"
1	KG-1	Ruoni	Bairiga	6882	29	9	60	96	43	24
2	KG-2	Lopchin		6805	29	11	59	96	41	39
3	KG-3			6726	29	13	45	96	40	52
4	KG-37			6554	29	14	28	96	40	18
5	KG-17			6536	29	22	35	96	30	28
6	KG-18	Gemsongu		6525	29	23	26	96	29	41
7	KG-12	Gongyada		6482	29	19	24	96	36	29
8	KG-9	Lugendo I	I -1	6449	29	17	1	96	39	27
9	KG-33			6441	29	10	24	96	42	7
10	KG-10	Lugendo II	II -1	6390	29	17	58	96	38	54
11	KG-16			6377	29	21	60	96	31	24
12	KG-34	Noi		6377	29	23	20	96	30	37
13	KG-9	Lugendo I	I -2	6350	29	17	2	96	39	15
14	KG-15			6350	29	21	47	96	32	5
15	KG-51	Kone Kangri	I	6347	29	37	7	96	3	18
16	KG-52	Delupola	I	6343	29	39	18	96	2	25
17	KG-5			6340	29	15	18	96	41	28
18	KG-22			6327	29	6	52	97	4	39
19	KG-9	Lugendo I	I -3	6306	29	17	10	96	38	48
20	KG-14			6293	29	20	60	96	33	13
21	KG-4			6290	29	15	45	96	40	19
22	KG-112	Ruoni Gendarme	I	6289	29	10	26	96	44	26
23	KG-10	Lugendo II	II -2	6278	29	17	41	96	38	29
24	KG-19	Hamokongga		6260	29	24	18	96	36	3
25	KG-41			6238	29	25	54	96	21	42
26	KG-20	Genikutz		6233	29	24	6	96	26	41
27	KG-39			6211	29	23	48	96	28	43
28	KG-13	Zeh		6177	29	20	16	96	36	57
29	KG-24	Gheni	I	6150	29	11	51	96	58	10
30	KG-51	Kone Kangri	II	6143	29	36	25	96	4	44
31	KG-52	Delupola	III	6140	29	38	58	96	4	19
32	KG-40			6101	29	24	6	96	27	49
33	KG-11			6091	29	18	40	96	36	34
34	KG-25	Gheni	II	6085	29	12	9	96	57	3
35	KG-35			6082	29	7	31	26	33	21
36	KG-55			6077	29	33	15	96	0	54
37	KG-6		I	6076	29	15	56	96	43	3
38	KG-52	Delupola	II	6065	29	38	46	96	3	31
39	KG-57		I	6050	29	37	36	95	53	39
40	KG-51	Kone Kangri	III	6041	29	36	32	96	5	26
41	KG-54			6040	29	34	14	96	3	4
42	KG-6	Zyaddo	III	6025	29	16	10	96	44	3
43	KG-38	Gheni	III	6020	29	12	49	96	56	29
44	KG-23			6010	29	9	21	97	1	59
45	KG-6		II	6003	29	16	19	96	43	28
46	KG-21			6000	29	22	59	96	25	25
47	KG-26			6000	29	12	27	96	54	40

山座同定の事例

1) KG-22

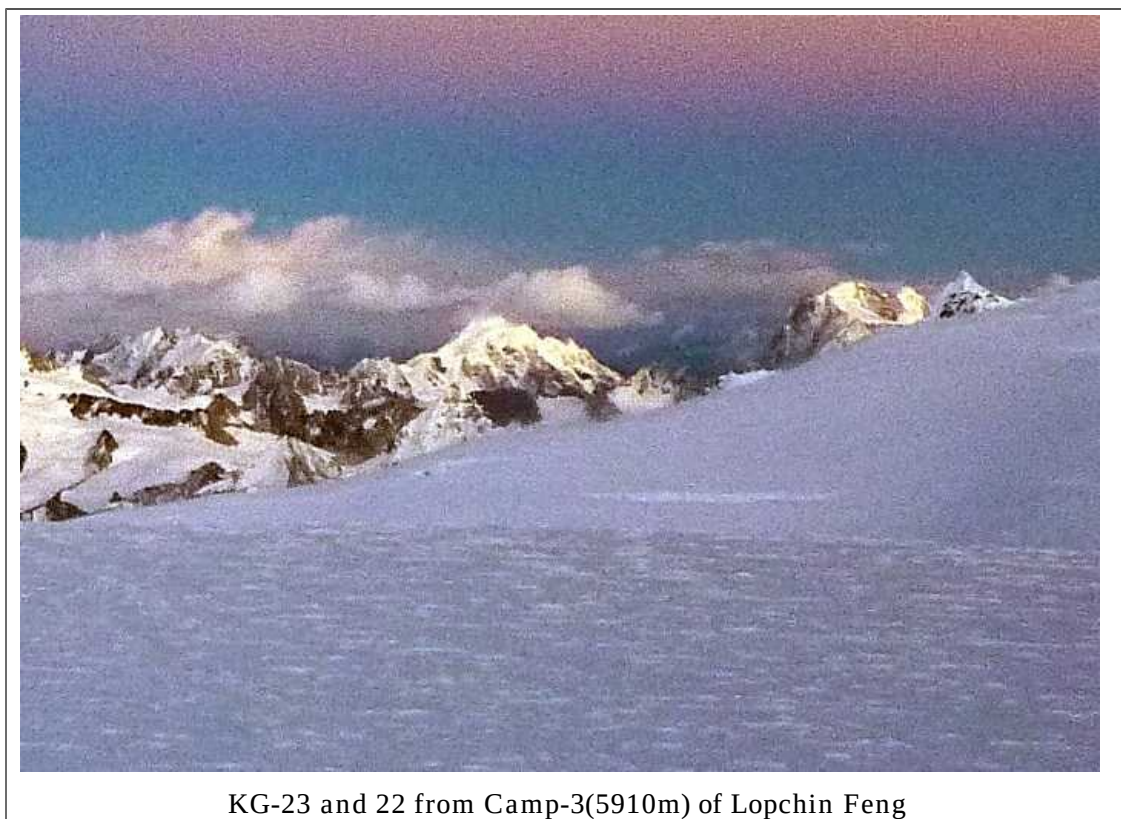
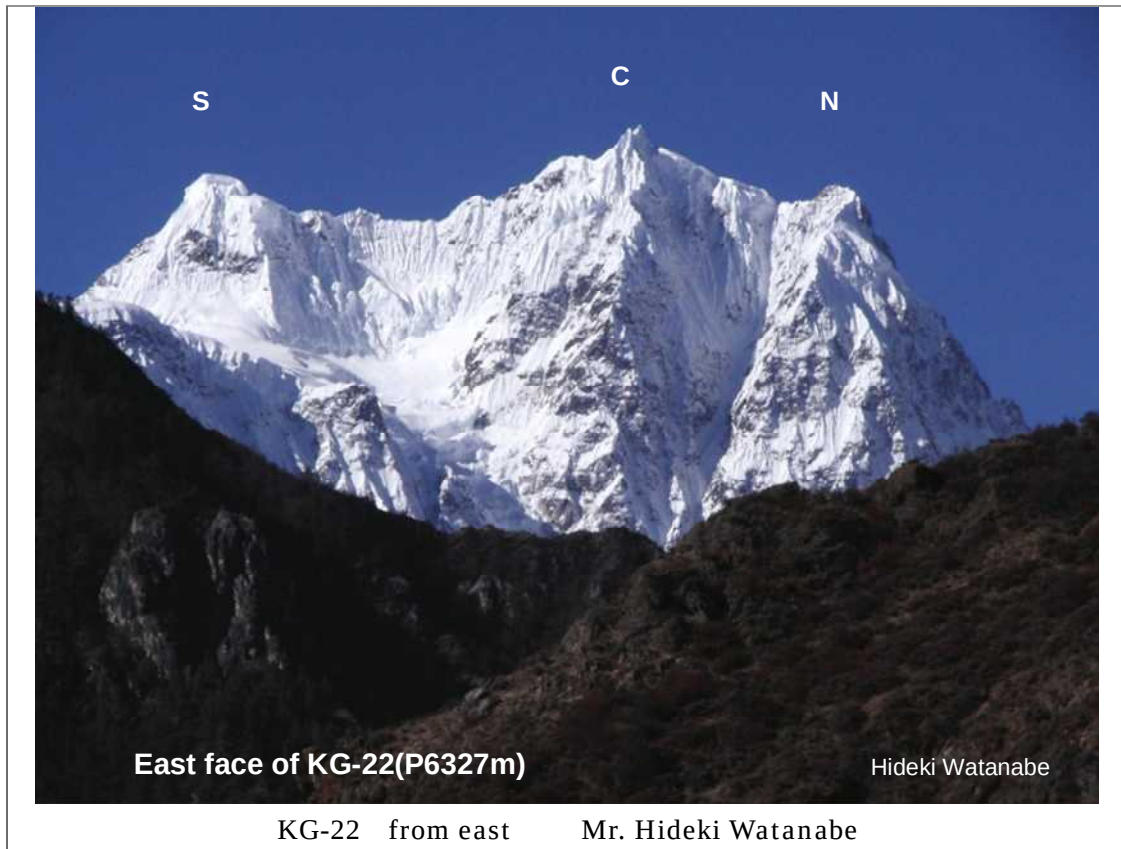
NO	Peak Name	Elevation	Longitude	Latitude
KG-22		6327m	E97-04-39.05	N29-06-52.43



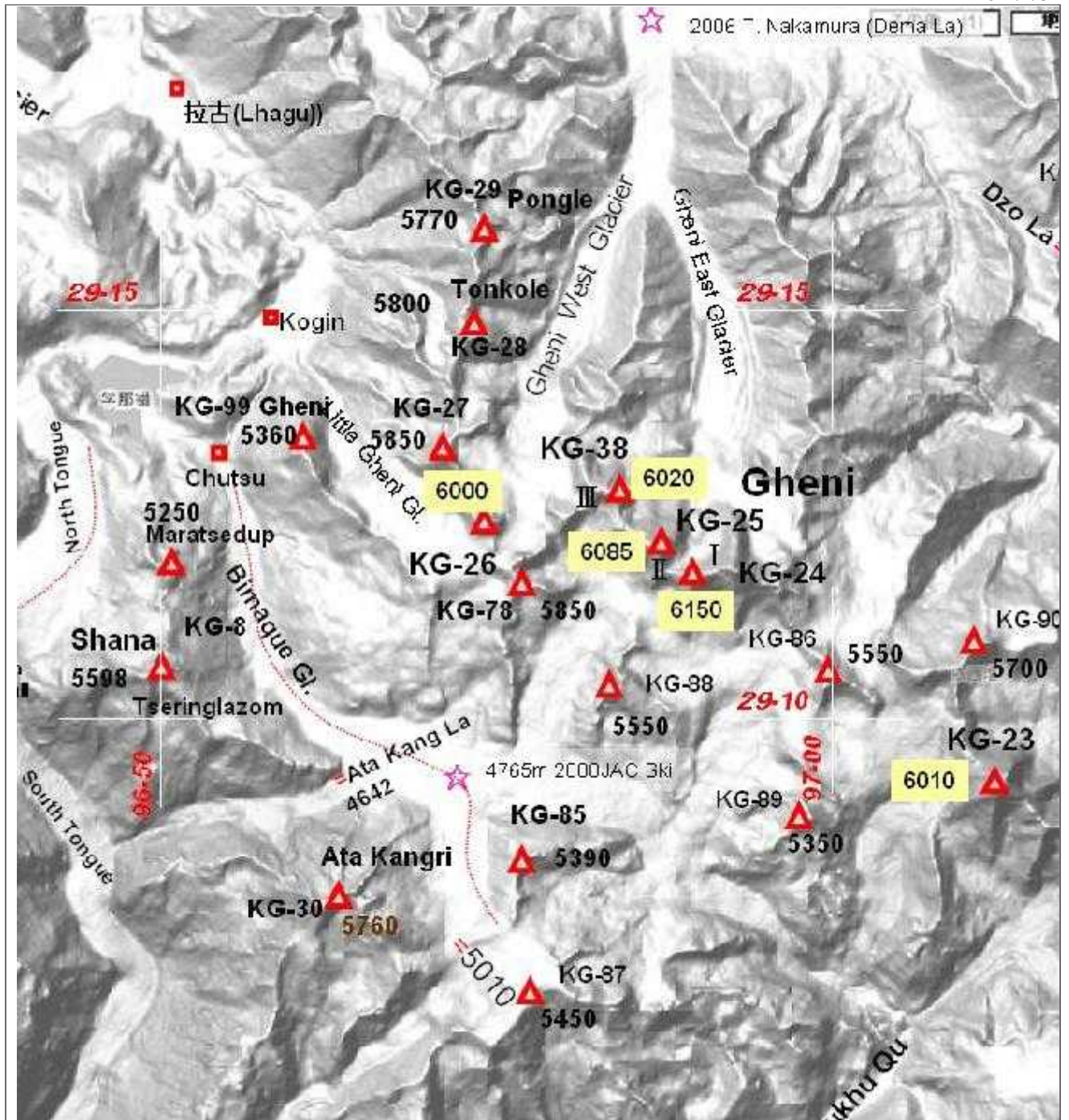
KG-22 from 5050m point in the Ata Glacier

解説:

- ▶ KG-22 (6327m) は崗日嘎布山群の東南端の 6000m 峰でこれより東南の山群の終わる察隅(Zayul)まで高峰は確認できない。
- ▶ ASTER GDEM の標高は 6149m
- ▶ KG-22 の姿を最初に捉えたのは JAC 福岡の渡部秀樹氏である。
- ▶ KG-22 は North Central South の三つの小ピークで構成されていて、North Peak が岩峰で北面が岩壁となっていて特徴ある風貌となっている。北峰は東、西、北から見る事ができる。
- ▶ 2006 年 中村保氏は 徳母峠付近から前山越に KG-22 の姿を撮影している。
- ▶ 2008 年スキー隊は奥アタカンラ付近から峠越に姿を撮影している。
- ▶ 2009 年 ACKU 隊は阿扎氷河(Ata Glacier)から西面の姿を捉えている。また、Camp-3 (5910m) からも写真がある。

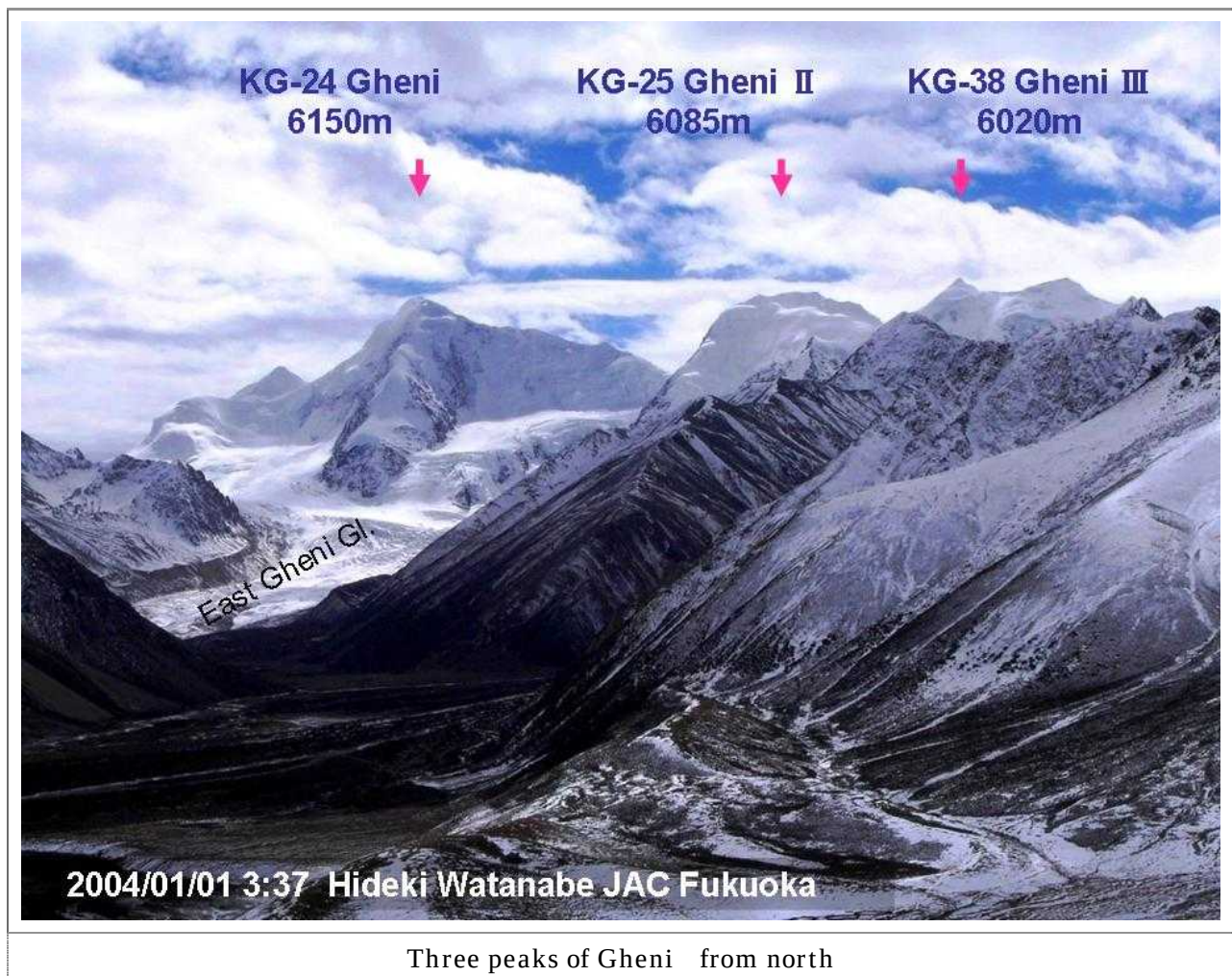






2) KG-24 25 38 26

NO	Peak Name	Elevation	Longitude	Latitude
KG-24	格尼Ⅰ峰 Gheni Feng	6150m	E96-58-09.72	N29-11-51.41
KG-25	格尼Ⅱ峰 Gheni Feng	6085m	E96-57-02.82	N29-12-08.81
KG-38	格尼Ⅲ峰 Gheni Feng	6020m	E96-56-29.30	N29-12-48.72
KG-26		6000m	E96-54-40.07	N29-12-27.01

**解説:**

- ▶ 格尼峰は徳母峠の道路から南方に広い谷と氷河を抱いた姿が見られる。従来 2 つの 6000m 峰の存在が知られていた。
- ▶ Lopchin 峰登山隊(ACKU 2009)が Camp-3(5910m)にて撮影した写真を分析したところ、第三のピーク(双耳峰 KG-38 6020m)が発見された。
- ▶ KG-26(6000m)は Little Gheni 氷河(仮称)の最高峰としてその存在が 2009 年、ACKU にて明らかにされた。
- ▶ JAC 福岡の渡部秀樹氏が徳母峠付近から撮影した写真に格尼峰の三つのピークが写っている。

- ▶ 2008 年、JAC スキー隊が奥アタカンラ付近から KG-24 の姿を撮影している。



KG-38 was newly found when this picture was reviewed. View from Camp-3 of ACKU 2009

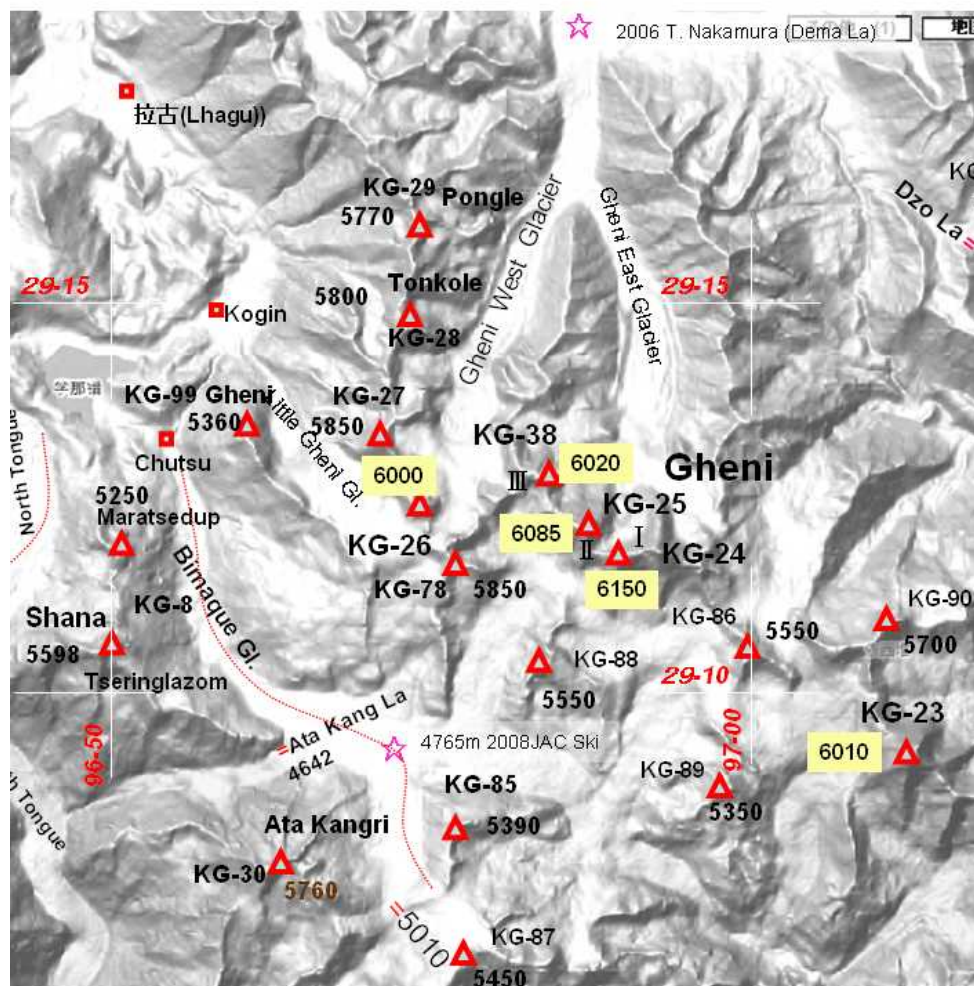
- ▶ KG-25 は従来 6050m 峰とされていた。



View from 5050m point in the Ata Glacier



KG-24 (Gheni I 6150m) from Bimaque Glacier ; 2008 Ski Party



3) KG-37

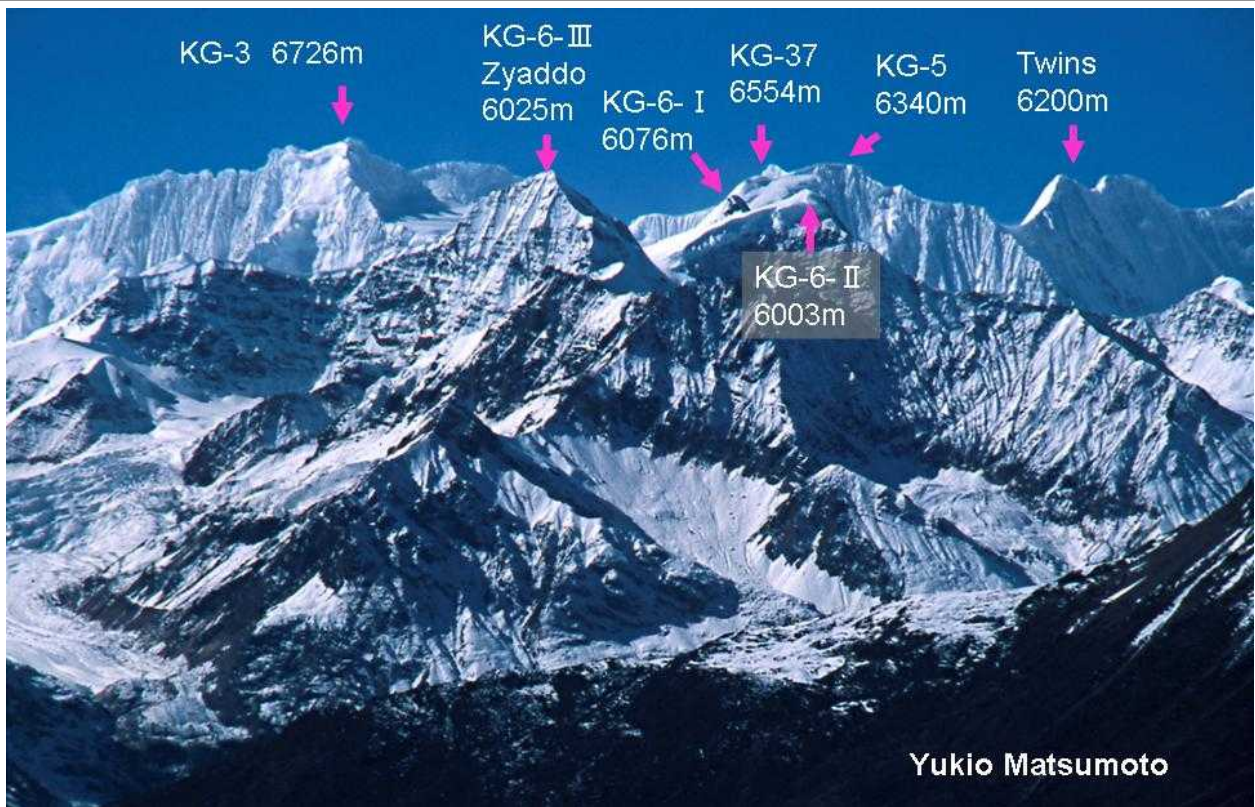
NO	Peak Name	Elevation	Longitude	Latitude
KG-37		6554m	E96-40-17.83	N29-14-28.22



Hidden KG-37 (6554m) P6443 in the Soviet Union Map

解説:

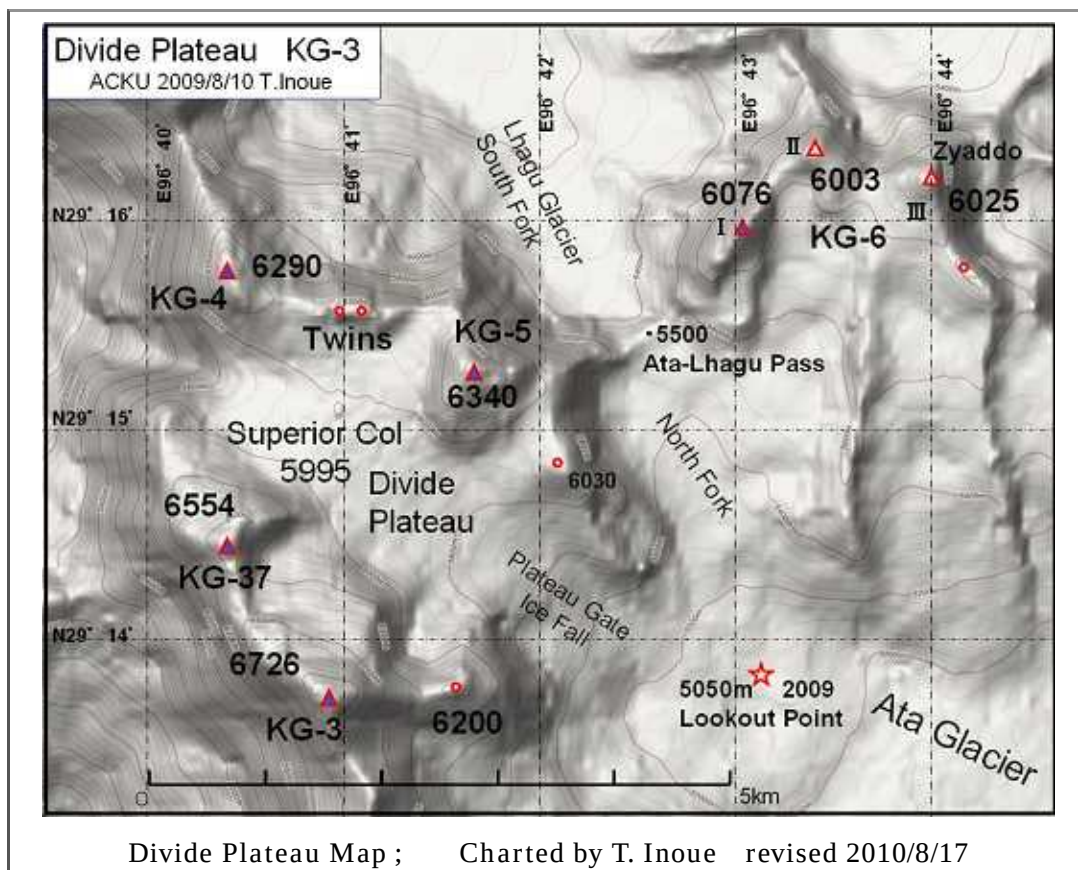
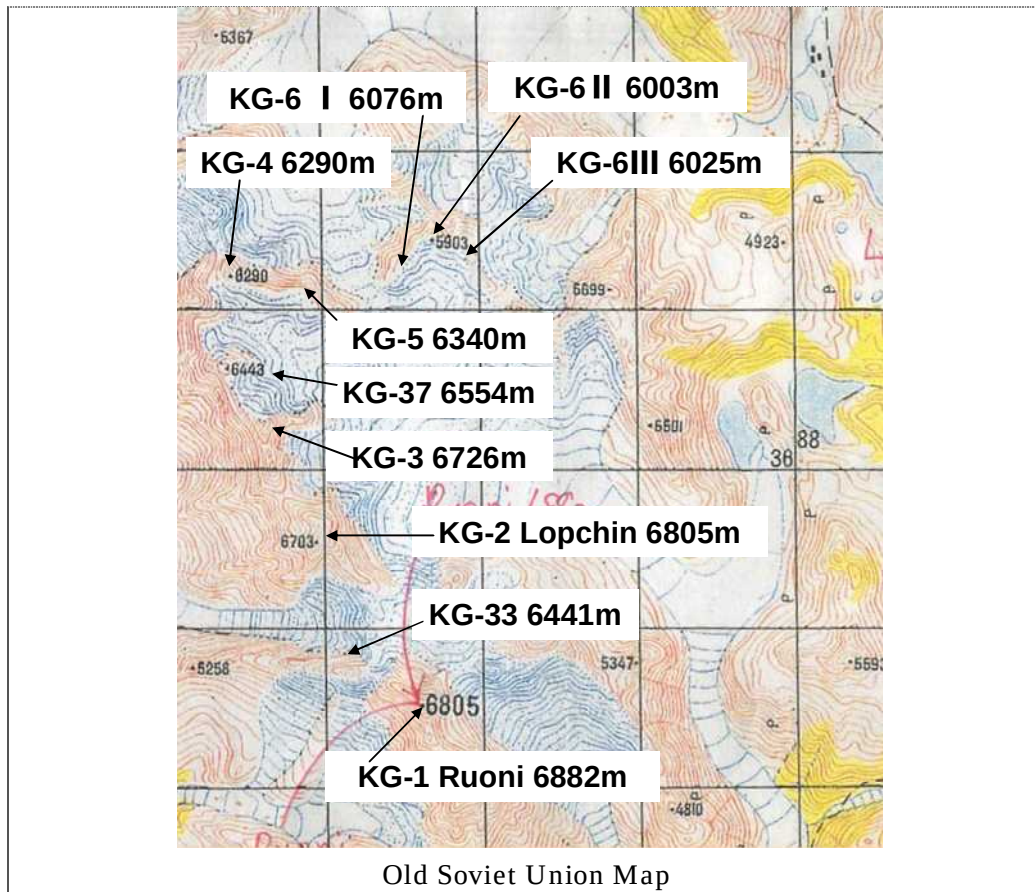
- ▶ 崗日嘎布山群で4番目に高いピークはこのKG-37と考えられる。しかし、旧ソ連の地図には6606m峰(KG-17, ASTER 標高 6536m)があり、どちらが高いかはさらに査証が必要であろう。本レポートではASTERの標高で比較してKG-37を第四番の高峰とした。
- ▶ 旧ソ連の地図とASTER Google GPS 及び現地観察 data から作図した地図を比較したい。旧ソ連の地図には6000メートル峰は4座確認できるが、新地図では10座となった。また新地図の阿扎氷河(Ata Glacier)最奥部の峰々の標高が約80mから110m高くなっている。
- ▶ 松本楠夫氏の著書「ヒマラヤの東 崗日嘎布山群」ではKG-5とKG-37は一体としてP6443mとしている。また、Zyaddoはピークが一つのみでKG-6IIをZyaddo(5903m)としているが、写真からはKG-6IIIがZyaddoに相当する。
- ▶ KG-37は当初はKG-3のマイナーピークではないかと思われたが、ASTERデータから立派なピークであることが判明した。



Remote scene from the road to Dema La; Layered peaks



Hidden KG-37 from the Ata Glacier



4) KG-41

NO	Peak Name	Elevation	Longitude	Latitude
KG-41		6238m	E96-21-42.22	N29-25-54.3

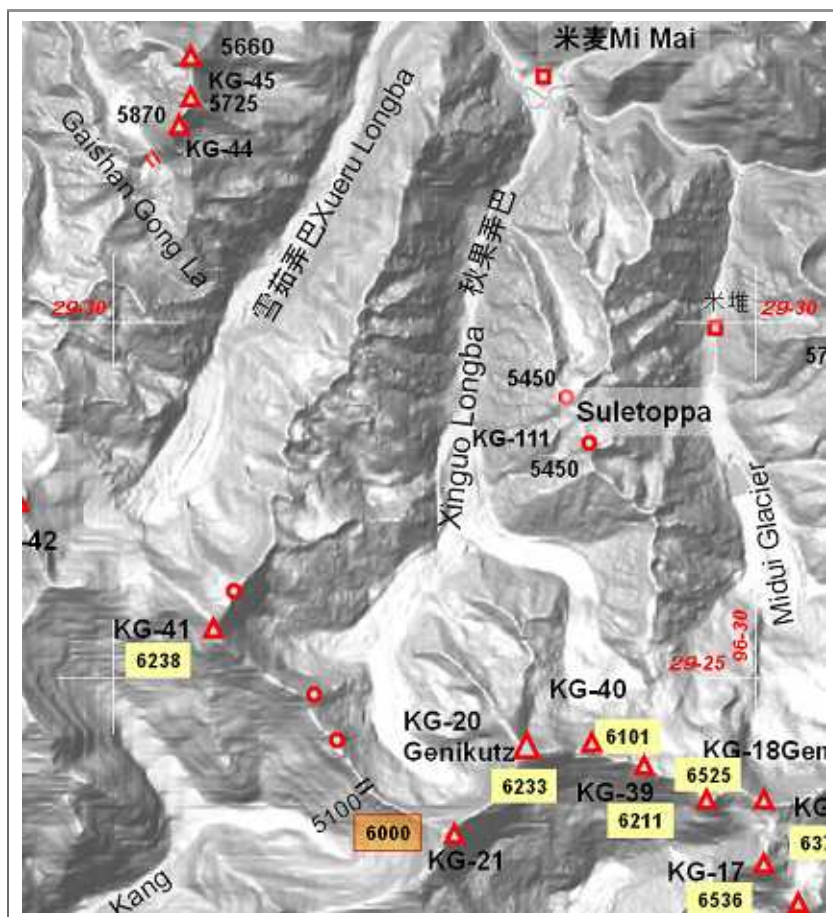


KG-41 from Snow Dome (Lhagu Glacier) and a figure point, Haruhisa Kato 2006

解説:

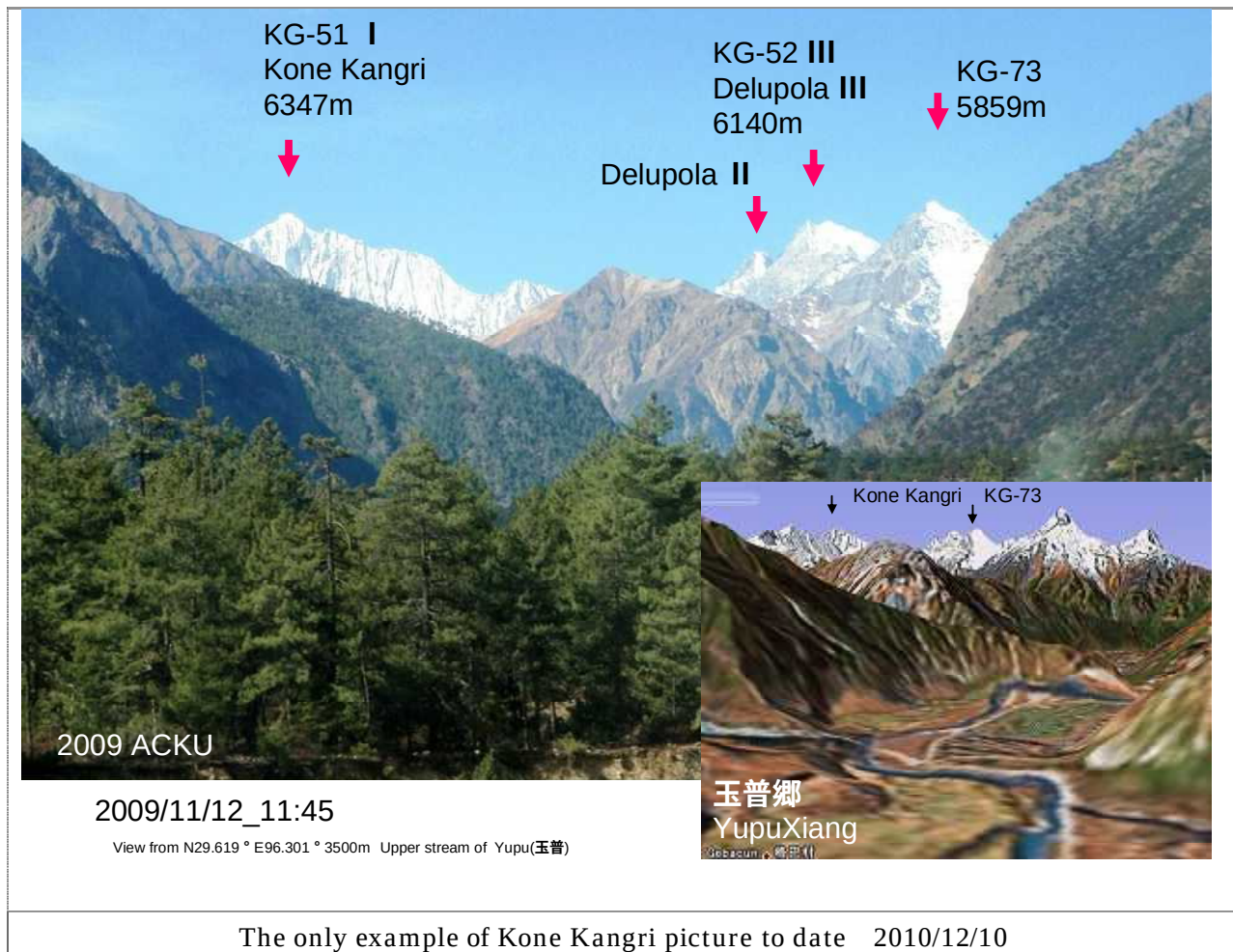
KG-41 from Xinguo Valley, 2006 Tom Nakamura

- ▶ 2006 年、シルバータートル隊に参加した加藤晴久氏がスノードーム 5900m から撮影した西方の写真と 2006 年に新果谷に入った中村保氏の撮影した写真に見事に特長点が写っていた。これより KG-41 が特定された。
- ▶ KG-54,55 も写真に写っている。これらも幻のピークである。
- ▶ 主峰から北北東に伸びる尾根上にはマイナーピーク(a6000m)がある。



5) KG-51

NO	Peak Name	Elevation	Longitude	Latitude
KG-51	Kone Kangri I	6347m	E96-03-17.58	N29-37-06.86
	Kone Kangri II	6143m	E96-04-43.79	N29-36-24.96
	Kone Kangri III	6041m	E96-05-25.50	N29-36-32.34

**解説:**

- ▶ ASTER GDEM によると 3 つのピークから構成されている。標高は中国地質図 1/50000 による。
- ▶ 1999 年、学習院大学が東の Gone 氷河よりアプローチしたが、山の姿は見えなかった。錦織氏情報。Kone Kangri は学習院大学隊の命名による。
- ▶ 2009 年、中村保氏等、西の Dong-chu Zangbo より接近を試みたが、その姿を確認することは出来なかった。
- ▶ 2009 年、Lopchin 峰 6805m 登頂後、帰路の車から山本恵昭登攀隊長が Yupu 上流から写した写真に偶然にもその姿が捉えられていた。撮影時間と場所の GPS データから Kone Kangri であることが確認された。
- ▶ 第二、第三峰は全くの未知。

